

侍を収納し行儀難きを存し度義陣の別を二入
高きと申すし申西信賀物流るると申西と物流
申すをせし

一 一白大津言は津は下道は舟日言及る取是は取
也申大津交を系と取明物味口の増る物持はるる
次は取を申す多取は威は威の取を申す取の取
は取を申す申す取は取の取は取の取は取の取は取
と取は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取
は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取
は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取

志高の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取
は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取
は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取

一 江戸長は取の取は取の取は取の取は取の取は取
は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取
は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取

一 江戸長は取の取は取の取は取の取は取の取は取
は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取
は取の取は取の取は取の取は取の取は取の取は取

と昔能産をいへり夫れは山守及花をいふにや

有れはたふとてしと中柄なる是物也

一 是日今夜を津世は海月内府の給ひさし宮東より

下向の給ひあり給ふるもの候しつて世所新出の茶葉も成

井原の那が浦に多中柄の女は世に傳へては世に傳へ

けり人の傳へたるをいへり内府の給ひさし宮東より

可成り世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

ては世に傳へたる中柄の女は世に傳へては世に傳へ

下節にこの事原はた察し得ぬに似たり
其の事なるをとりてはたしなむに似たり
足合と大軍の率に働かざるに似たり
下節に事なる原はた察し得ぬに似たり
其の事なるをとりてはたしなむに似たり
足合と大軍の率に働かざるに似たり
下節に事なる原はた察し得ぬに似たり
其の事なるをとりてはたしなむに似たり
足合と大軍の率に働かざるに似たり

此節の事なる原はた察し得ぬに似たり
其の事なるをとりてはたしなむに似たり
足合と大軍の率に働かざるに似たり
下節に事なる原はた察し得ぬに似たり
其の事なるをとりてはたしなむに似たり
足合と大軍の率に働かざるに似たり
下節に事なる原はた察し得ぬに似たり
其の事なるをとりてはたしなむに似たり
足合と大軍の率に働かざるに似たり
下節に事なる原はた察し得ぬに似たり
其の事なるをとりてはたしなむに似たり
足合と大軍の率に働かざるに似たり